

# 第45期 (2022年3月期) ビジネスレポート

2021年4月1日 ▶▶▶ 2022年3月31日



**AND | HOLON**  
A&D ホロンホールディングス

株式会社A&Dホロンホールディングス

東京証券取引所プライム市場 証券コード：7745

## トップメッセージ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、株式会社エー・アンド・デイと株式会社ホロンは2022年4月1日付けで経営統合するとともに、持株会社体制へと移行いたしました。グループの経営を担う純粋持株会社の新たな社号は、「株式会社A&Dホロンホールディングス」です。新体制のもとグループのシナジーを発揮し、中長期成長の主力エンジンと位置付けた半導体関連事業で、市場要求に即し、かつより高度なソリューションの提供を可能とすべくグループ一丸となって取り組んでまいります。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### ■第45期の事業報告

当社を取り巻く経済環境は、日本、海外ともに回復基調となりましたが、半導体不足や材料価格高騰、物流停滞や輸送費用の高騰に加え、ロシア・ウクライナ情勢が悪化したこともあり、依然予断を許さない状況となりました。

このような状況の中で当社グループは、コストダウン活動の推進と販売費及び一般管理費の抑制に取り組み、前年同期比で増収増益を継続いたしました。

セグメントごとの業績につきましては、計測・計量機器事業においては、企業活動・経済活動の持ち直しによる製造業の設備投資への回復基調を背景に増収増益となりました。また、医療・健康機器事業においては、健康機器における前年度の特需吸収を目指すも売上高は前年同期比で微減となっております。

以上により、当連結会計年度の売上高は51,736百万円(前年同期比6.8%増)、営業利益は5,496百万円(同24.8%増)、経常利益は5,604百万円(同22.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は3,573百万円(同7.0%増)となりました。

### ■中期経営計画について

当社は、直近3年度(2023年3月期～2025年3月期)の連結経営計画を立案しました(2022年5月12日公表)。

基本方針として、組織再編によるグループ経営管理態勢を構築し、産業構造の変化に対応することで社会課題解決へ貢献するとともに、経営体質を強化することで成長の実現を目指します。また、各本部と事業単位ごとの連携強化、グローバル連携の強化、連携強化のための仕組みの充実を目標とします。

### 連結数値目標(2023年3月期～2025年3月期)

	2022年3月期 (実績) (百万円)	2023年3月期 (実績予想) (百万円)	2024年3月期 (目標) (百万円)	2025年3月期 (目標) (百万円)	年平均成長率 (%)
売上高	51,736	53,800	58,700	63,900	7.3%
営業利益	5,496	6,000	7,600	9,200	18.7%
経常利益	5,604	5,870	7,410	9,050	17.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,573	3,990	5,110	6,240	20.4%
売上高営業 利益率(%)	10.6%	11.2%	12.9%	14.4%	—

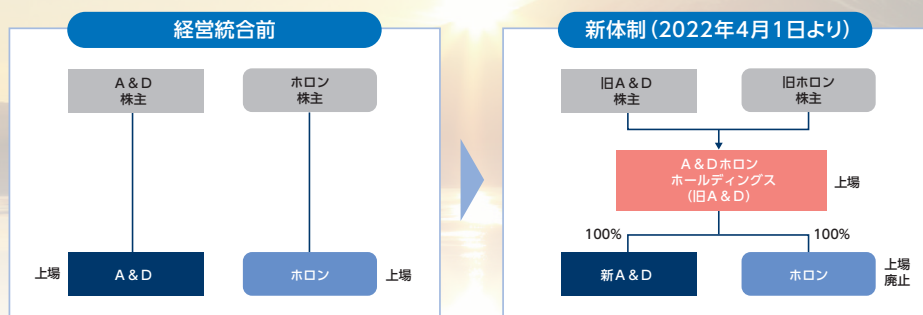
2022年6月  
代表取締役執行役員社長 森島 泰信

## エー・アンド・デイはA&Dホロンホールディングスへ

### 経営理念

わたしたちは、長年培ってきた「はかる」技術を社会に提供することを通じて、  
科学技術の発展、産業の高度化、人々の健康な生活に寄与し、  
豊かで持続的な社会づくりにグローバルに貢献する企業グループを目指します。

2022年4月1日、エー・アンド・デイとホロンは経営統合し、A&Dホロンホールディングスとして新たな一歩を踏み出しました。当社は、2022年2月28日の臨時株主総会において株主の皆様にご賛同いただいたことを受けて、4月1日に、エー・アンド・デイを株式交換完全親会社、ホロンを株式交換完全子会社とする株式交換を行いました。同時に、新設子会社に主要事業を承継させる吸収分割および商号変更により、当社はエー・アンド・デイとホロン、2つの子会社を有する持株会社「A&Dホロンホールディングス」となりました。



なお、「A&Dホロンホールディングス」は4月4日の東証市場再編に伴い、プライム市場に上場しております。  
当社は株主の皆様からのご期待とご信頼に応えるべく、グループ一丸で統合シナジーの早期実現を図り、企業価値向上に取り組みまいります。株主の皆様におかれましては、さらなるご支援、ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



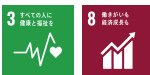
### ホームページのご案内

A & Dホロンホールディングスのホームページが完成いたしました。  
各事業会社へのリンクのほか、最新のIR情報をご覧くださいませ。

<https://andholon.com/>



### 「健康経営優良法人2022」に認定



当社は2022年3月9日、経済産業省が日本健康会議と共同で主催する健康経営優良法人認定制度「健康経営優良法人2022」に2020年度から3年連続で認定されました。

当社は、計測・計量・医療・健康機器メーカーとして、お客様の健康をサポートする製品をご提供するためには、その原動力となる全社員が心身ともに健康であることが重要との考えに基づき、健康経営に取り組み、諸施策(社員食堂活用による食生活改善、健康チャレンジカード配布、メンタルヘルス相談窓口の充実など)を展開しています。

今後もより一層社員の健康増進に向け、健康経営の実践の取り組みを推進し、経営理念であるお客様の健康な生活に貢献します。



## 遠隔医療やスマートシティ実現のための新技術 国際規格の提案が承認されました

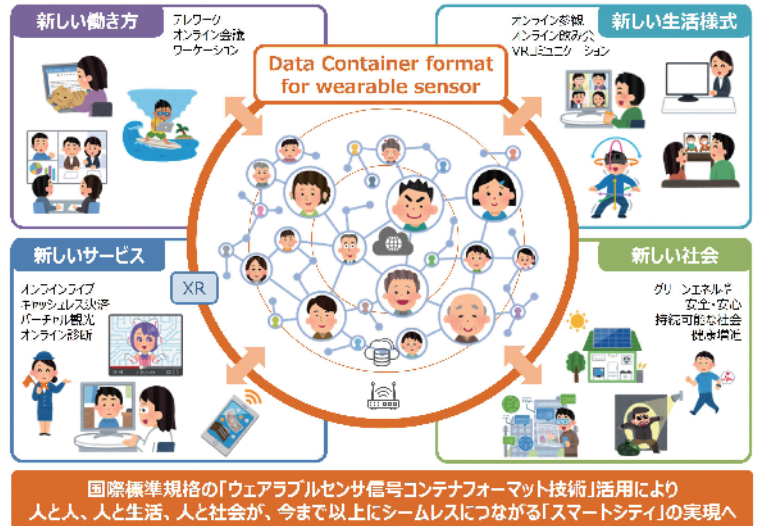


当社と広島市立大学、TIS株式会社、帝人株式会社の4者で共同提案した、「ウェアラブルセンサ信号のコンテナフォーマット」に関する国際規格の提案がIEC※において2021年12月に承認されました。今後は規格文書の完成と審議を開始し、2023年度に国際標準規格発行を目指します。

「コンテナフォーマット」とは、メーカーや機種などが異なるウェアラブルデバイスのセンサ信号の互換性を高め、共通に処理できるようにする技術です。これによりさまざまなIoT・ウェアラブルデバイス間の接続性が高まり、測定したデータを容易に共有・連携することが可能となります。

さらにこのコンテナフォーマット技術は、「ヘルスケア・医療」の活動領域だけではなく、将来的には、製造、流通、金融、建設、運輸、サービス、エネルギー、公共などさまざまな領域への適用が可能であり、「スマートシティ」実現のための重要な技術となり得ると期待されています。

当社は今後も、皆様の日々の健康管理に役立つ技術を提供し、産業の発展と健康な生活に貢献します。



※IEC: International Electrotechnical Commission  
(国際電気標準会議)



## 天びんに関する特許を3件取得しました



当社は分析用天びんと電子天びんに関する特許を3件取得しました。本発明により計量の時間が省け、作業の効率性向上に貢献します。

### ●オートドアの開閉に関する特許

- ・特許第7008386号：オートドア機能付き風防ドアの開閉について、自動／手動の切り替えを行うことなく、どちらでも使用できスムーズな開閉が可能となりました。
- ・特許第7008387号：サイドガラスを吊り下げ、下レールの無い形状に改良。汚れもたまず、清掃もしやすくなりました。

### ●ポンプなどの流量の測定に関する特許

- ・特許第7011882号：流量算出に必要なパラメータを天びんが自動で算出し、簡便に流量測定が可能となりました。



マイクロ(ミクロ)電子天びん/分析天びん  
[BA-6TE / BA-6DTE]



分銅内蔵型天びん [GX-324AE]

### 新製品情報



## パルスオキシメータ [Pulse Pro J TM-1111]

操作もカンタン、持ち運びに便利な軽量小型の日本製パルスオキシメータです。血中酸素飽和濃度を手軽に計測できます。

### 主な特徴

- 日本製のJIS規格にも適合した医療機器認証品
- 小型、軽量：本体重量わずか45g
- かんたん操作：装着するだけで電源ON、外せば電源OFF
- バックライト機能：指から外しても30秒間点灯、転記に便利
- 回転画面表示：本体の向きで画面が回転

詳しくはこちら



販売名：パルスオキシメータ TM-1111 医療機器認証番号：304ABBZX00005000

### 新製品情報



## 「ポケットシャワー UN-302」

どこでも手軽に持ち運べるポケットサイズの超音波吸入器です。使用することで、のど・鼻の不快感を改善します。風邪・花粉の季節に、外出先でもデスクでも、いろいろなシーンで大活躍します。

### 主な特徴

- 超音波方式により、生理食塩水が使って、むせずにスムーズな吸入が可能に
- 約9マイクロメートルのミストが、喉や鼻を加湿、洗浄し、不快感を改善
- どこでも手軽に持ち運べるポケットサイズ
- 給水ユニットは丸洗いして繰り返し使用可能

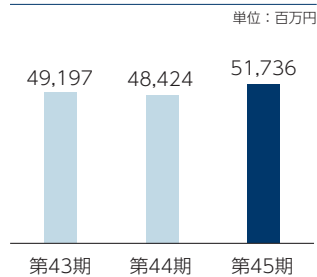
詳しくはこちら



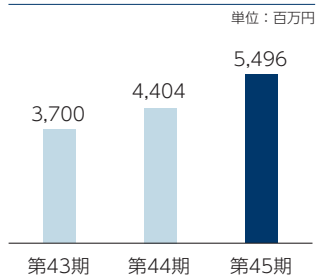
販売名：ポータブル型超音波吸入器UN-302 医療機器認証番号：303AHBZX00025000

# 財務ハイライト(連結)

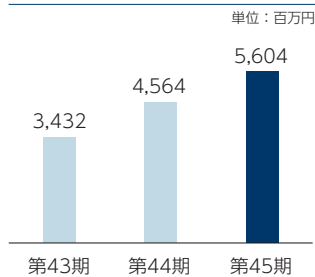
## 売上高



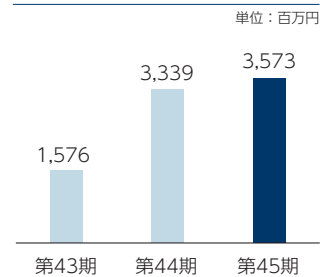
## 営業利益



## 経常利益



## 親会社株主に帰属する当期純利益



## 営業の概況

**医療・健康機器事業 41.6%**

健康機器

売上高 18,038 (前期) / 17,164 (当期)

医療機器

売上高 3,723 (前期) / 4,370 (当期)

半導体関連

売上高 3,992 (前期) / 5,082 (当期)

売上高

第45期 **51,736**百万円

(第44期 48,424百万円)

売上高構成比

内側：前期 外側：当期

**計測・計量機器事業 58.4%**

計測機器

売上高 2,441 (前期) / 2,655 (当期)

計量機器

売上高 15,232 (前期) / 17,235 (当期)

DSP機器

売上高 4,996 (前期) / 5,227 (当期)

日本における前年度の体温計特需収束の影響が大きく売上減少。一方で米州での大口案件や欧州でのeコマースは引き続き好調。また、遠隔医療関連の需要増に伴う通信機能付き血圧計や体重計も堅調で売上に貢献。

新型コロナウイルス感染症拡大を背景にした医療機関等での設備投資需要増に伴い、医科向け血圧計や業務用体重計等の実績が伸長。また、英国での携帯型自動血圧計の大型案件も寄与したことで売上伸長。

世界的な半導体供給不足に伴う半導体装置メーカーの旺盛な設備投資需要を背景に受注・売上ともに大きく伸長。

経済活動の再開に伴う製造業での設備投資が回復基調となり、計測機器・計量機器ともに需要が回復したことで売上伸長。特に計量機器では日本や米州での売上伸長のほか、インドでのジュエリー市場の特需や豪州・韓国での経済活動と同調した実績増が貢献。

計量機器と同様に経済活動の再開による設備投資の回復を背景に堅調な売上となり、日本や米州における受注が増加。

## 会社概要 (2022年3月31日現在)

- 所在地 東京都豊島区東池袋三丁目23番14号
- 設立 1977(昭和52)年5月6日
- 従業員 2,591名(連結)
- 資本金 6,388百万円

- 株式の状況 発行可能株式総数 40,000,000株
- 発行済株式の総数 22,601,400株
- 株主数 7,273名

### 大株主の状況(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	1,876千株	8.94%
MLI FOR CLIENT GENERAL OMNI NON COLLATERAL NON TREATY-PB	1,160	5.53
イー・アンド・デイ従業員持株会	998	4.76
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	990	4.72
野村信託銀行(株)(投信口)	771	3.39
(株)埼玉りそな銀行	606	2.89
(株)足利銀行	490	2.33
(株)日本カストディ銀行(信託口)	471	2.25
古川 哲	350	1.67
(株)日本カストディ銀行(信託E口)	303	1.44

(注)1. 当社は、提出会社名義の自己株式を1,616,070株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。なお、自己株式には株式給付信託(BBT)の導入に際して設定した(株)日本カストディ銀行(信託E口)が所有する当社株式303,000株を含んでおりません。

2. 持株比率は発行済株式総数から自己株式を控除して計算しております。

株主メモ	
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月下旬
株主確定基準日	3月31日
	その他必要があるときは、予め公告いたします。
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることのできない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
	公告掲載URL <a href="https://andholon.com/">https://andholon.com/</a>
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部